

令和3年春期金沢シーサイドタウン地区推進連絡会

1 日時

令和3年5月8日（土）

第一部：13：30～15：10、第二部：15：30～16：00

2 場所

第一部：A 連合自治会館、B 富岡東地域ケアプラザ、C 富岡並木地区センター

第二部：連合自治会館

※感染対策のため、第一部を3グループに分け、1グループ10名程度とした。
各グループで出た意見を、第二部で地区社協メンバー中心に共有した。

3 参加者

自治会・地区社協等地域団体関係 22名

学校関係 6名

区役所 10名

区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 9名

4 意見交換要旨

(1) 子ども子育てに関すること

・赤ちゃんサロン(親子フリースペース)4月より再開。(並木北コミュニティーハウス) 5組参加し、スタッフ、親子同士久しぶりの再会をととても喜んだ。

・4月から月1回最終日曜日に、ふなだまりで「親子でゴミ拾い」をスタートしている。4月は30人集まった。今後も実施する。

・様々な家庭がある中、地域支援、区役所支援、子ども家庭支援課、民生委員、児童委員の方々が、関わってくれている。中学生は部活動で忙しく、地域に出る機会が少ないが、放課後の居場所は必要。

・並木第一小学校には、13か国の子どもが、通っている。

・学区内には20以上の公園があり、緑も多く、工場地区もあり、小学生が歴史や社会を学んだりするには良い地域である。

・子どもたちには、「あいさつ」するように言っているが、見守りの方々は、子どものみならず、地域の方にも挨拶されており、頭が下がる。

・地域の学校や保育園、高校との交流は必要と思う

・社会全体で子どもたちを育てていく、やることをバックアップするような啓蒙も必要。

・子どもたちがやっていることをインフォメーションすることも必要。

・子ども会(6人しかいないので)辞めたいという母親がいた。13街区「池の会」が子どもたちの遊びを主体とした憩いの場を作った。やりたいこと等を提案すれば賛同してくれる人も出てくる。子ども会が主体にならなくても色々な人が担い手になる＝支えあい

・保育園もコロナで園庭開放もなく、地域の繋がりが薄れている。イベントを開催してクレームもある。保育園の保護者も様々。地区社協の中でも、今後、子育て支援をどうやったらよいか。今までは平日の昼間の活動が中心だったが、幅広い活動をどうやっていくかが課題。

(2) 高齢者に関すること

・お助け隊なみき・・・平成30年より立上げ。29自治会、垣根を超えた活動。ニーズはたくさん。

☆利用者は、富岡団地、並木1～3丁目対象。

☆去年はコロナで家に入ってから活動があまりできなかった。

☆1丁目が超高齢化により、2丁目、3丁目に比べて依頼が多い。

☆車いす利用者の階段昇降など、ボランティアとしてできることできないことのすみわけが現在の課題

・高齢化率は高いが、要介護認定率が低く、この地域は、元気な方が多いという印象。

・高齢化で3階以上の住人はゴミ出しも大変。声掛けしても遠慮する人もいる。グリーンクラブ（樹木の剪定ボランティア）など仲間が手伝う事での安心感もある。

(3) 障害者に関すること

・間接的にアプローチも必要だが、親をもっとサポートしていくべき。親80代、子ども60代の例もある。親と共に、地域で何ができるか、考えていきたい。

・近辺に児童デイサービスも増え、障害児の受入れ場所出てきた。

・発達障害児が増えている。学力の差も広がってきている。多国籍、障害児、共に増え、人手必要。

(4) 担い手に関すること

・担い手の高齢化が進む中、力仕事の割合が多く、男性の担い手をもっと欲しい（お助け隊）

・地域の活動を知ってもらうことが大切（誰かの役に立ちたいと思っている人もいるはず）

・人材は一本釣り。地域づくり塾かなざわへの参加がきっかけに地域活動に参加するようになった。

・PTAでも地域活動でも、誰かが負担を背負う。大半が無関心。持続可能な取り組みのために、一部の人が担うのではなく、多くの人に関わり1人の負担が2～3割程度になることが大事。この思いで地域とともに地域を盛り上げていきたい。

(5) 防災に関すること

・幼児から大人、高齢者、障害者等要援護者を、一括りにして支える「防災活動」が必要。声をあげたくてもあげられない人を、地域で支える「防災活動」が必要である。

・住民居住者調査を年に1回行っている（回収率95%）。約20名が支援してもらいたい、約200名が支援します、との結果がでた

・災害対策委員会は大人ばかりの参加だったのが子どものグループも参加し検討するようになった。発災時にどう動くか。訓練時にはペットも一緒に。

・高齢者名簿を作成している。

(6) SNSなど情報発信に関すること

・SNSも大事だが、経済的背景や環境などで利用できない人もいる。人と人のつながりも大事。

(7) 生活環境などに関する事

・ふなだまりを潮干狩りができて、子ども達が集まる環境に作り替えたい。

・早朝5時から1時間ほど掃除をしている。

・昨年、カモの死骸を10羽回収。ボラも毎日3匹死んでいる。

・原因解明のため、水質検査を継続的に実施していく予定。

・グリーンベルトをみんなで、もっと活用しよう

・金沢緑地（グリーンベルトを、子どもが参加できる場所にもしたいと国の予算を使い3年計画をたてている。若い世代が、考え行動し、参加できるようにしていきたい。

・グリーンベルトは校外学習でよく利用している。

(8) 世代間交流に関すること

・この街の組織は、とても高齢化が進んでいる。子ども・高齢者・お母さん等の世代間の交流が大切だと感じている。

・地区で不足していると感じるのは、「近所や顔なじみの連携」。顔見知りをつくり、つなげて支えていけるような地域が必要。

・卒業してもこの地域に戻ってこられる地域、円滑に回る地域にすることが「つながり」だと思う。

・地域の学校や保育園、高校との交流は必要と思う

《地区社協より・・・》

第3期地区別計画の活動振り返りについて

❖大人も子どもも住みやすい街

⇒交流事業（様々な文化）は手付かずになっている

❖「障がいがある」ことへの理解と 共に暮らす

⇒親と施設のあり方を知るところから始める

❖得意を活かして地域へ貢献—できることをできる範囲で

⇒様々なボランティアグループが活躍している

❖楽しい自治会活動で 安心な街に

⇒安心・全な街は一人ひとりの関心から生まれる

❖外部への魅力発信

⇒広報誌に加えてネットを利用したの発信に力を入れる

❖住環境の美化と整備

⇒グリーンベルトの良さに気づき大切活用しよう

⇒並木北駅・幸浦にエレベータの設置を要望